足立区立第四中学校　　令和５年１１月１６日　第７号

第四中だより

〇自ら学ぶ人　〇心のひろい人　〇たくましく生きる人　　校長　難波　浩明

ウェルビーイングって何？

あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、最近、国は、今後の日本の教育を進めていくにあたり、この「ウェルビーイング」という言葉を重要なコンセプトとして示しています。

この「ウェルビーイング」とは、端的に言えば、「身体的、精神的、社会的に良好で満たされている状況にあること」、もしくは、「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあること」を意味するそうです。

国は、教育基本法という法律に基づき、教育の振興に関する施策についての基本的な方針や講ずべき施策について、基本的な計画を定めることになっています。この計画のことを「教育振興基本計画」と呼んでいるのですが、今年の６月には、新たに第４期（令和５年度～令和９年度）の計画が策定されたところです。

今回の国の教育振興基本計画には、「持続可能な社会の創り手の育成」というコンセプトに加え、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が重要なコンセプトとして取り上げられています。そして、この「日本社会に根差したウェルビーイング」には、＜自己肯定感や自己実現などの、個人が獲得・達成する能力や状態に基づくウェルビーイング＞と＜協働性、利他性、社会貢献意識などの、人とのつながり・関係性に基づくウェルビーイング＞があるとしています。

５月の連休明けから、感染症が５類扱いとなり、夏祭りボランティアや第四地少協夏休みお楽しみ会ボランティア、地域の伝統文化の継承にかかるボランティアなど、地域でのボランティアの場が広がってきました。最近では、地域に住む方々から、「道で困っていたところ、四中生が助けてくれ、本当に助かりました。生徒さんにありがとうとお伝えください。」という感謝の電話がいくつか学校にあり、大変うれしく思いました。中間考査明けには、生徒会が中心となり、約１５０人のボランティアの生徒の皆さんが地域の清掃活動に参加してくれました。これからも、四中生一人一人が自分の幸せや豊かさを感じるとともに、自分を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられるように、「ウェルビーイングの向上」の視点を大切にしていけたらと思っています。

四中卒業生の活躍

昨年度の卒業生の皆さんが、この夏「15歳の提言」というチームを組み、第1回全国高校生政策甲子園決勝大会に挑みました。未来型×現代型ハイブリッド政策で新しい社会への第1歩となる施策を提言し、「設定テーマ部門」デジタルを駆使した新たな選挙で、見事、最優秀チームに輝きました。おめでとうございます。詳しくは、以下で検索し、発表動画をご覧ください。

第一回全国高校生政策甲子園　決勝大会　結果発表

＜１０月～１１月　魚沼自然教室の思い出　＆　連合音楽会＞

魚沼の風景

民宿の方との初対面

稲刈り

お米のお土産づくり

新潟県立歴史博物館

目黒邸

ライスセンター

魚沼北中との交流会

魚沼北中ソーラン

体育館レク

方言カルタ

米袋選手権　最優秀賞

連合音楽会

連合音楽会

連合音楽会